

行政視察報告

行政視察は、様々な取組みを行う先進地例を学び、今後の本市に生かすために行うものです。それぞれの視察がどのように反映されていくか、どうぞご期待下さい。

鴻巣フロンティア

B級グルメ・耐震補強工事・
宣伝戦略営業部

平成22年1月19日から21日の日程にて長崎県大村市・雲仙市・佐賀県武雄市を視察研修しました。

大村市のレストラン経営者が、まちの活性化のために「大村あま辛黒カレー」を開発し、カレーの普及のためボランティアを結成、カレーの普及活動をしています。

雲仙市の耐震化率は、全国で下位でした。学校施設は、児童・生徒が生活する場であり、災害時には緊急避難場所ともなることから、下位脱出作戦として、完全外付耐震補強工法「ピタコラム工法」により、学校の休みに関係なく耐震補強工事ができ早期完了計画を策定しました。

武雄市は、豊かな自然や食文化を広く宣伝するために、市役所に営業部を新設しました。

PRにテレビドラマのロケ地を誘致し、ロケ地を訪れる観光客の増加

に成功しました。

鴻巣市も施策の参考に出来たらと思います。



雲仙市役所にて

クリーン・ネット21

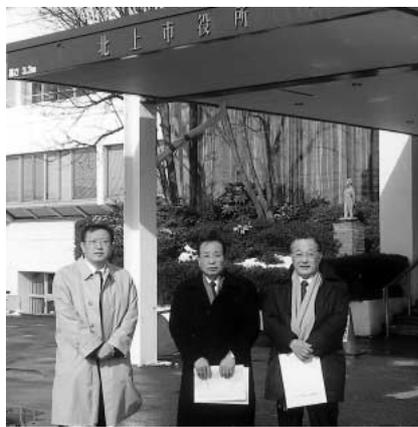
協働によるまちづくり

～岩手県 北上市～

平成22年1月25日から27日まで、盛岡市クリーンセンター、北上市「協働によるまちづくり」、山形市「仕事の検証システム」を視察しました。

北上市では、平成12年から協働推進に取り組んでおり、公募市民による「協働によるまちづくり市民会議」等を経て、協働の主体を「市民（N

PO・コミュニティ）・企業・行政」に分類し、「まちづくり協働推進条例」を制定しました。市は企業にとってのメリットを明確化するために「地域支援活動企業功績賞」を制定、表彰している。企業と市民・地域のニーズが一致した事業としては、「運動施設の無料開放」「子どもの安全教室」等があり、企業数は20社にのぼる。本市においても市民協働部が設置されたが、企業をどう取り込んでいくのが参考になりました。



北上市役所にて

鴻創会

あれかこれか推進プロジェクト

～筑後市～

2月3日～5日、筑後市・唐津市・大村市を視察しました。

筑後市では厳しい財政状況下、行政評価を活用して「あれもこれも」

から「あれかこれか」の選択と集中による、着実な総合計画の実現を図るもので、本市の行政評価システムと同様な施策でした。

唐津市では収納対策として効果的なインターネット公売と公売会を併用し、公売市場の拡大と有利な売却という流れが生じ、収納率の増加に寄与しています。本市も参考にし、多面的な収納アップに努めるべきと思います。

大村市では「子育てするなら大村で」のもと、様々な分野の団体・機関が関わりを持ちながら、子育てが安心してできる環境づくりを総合的に進めているプロジェクトです。本市の児童福祉・子育て支援の充実を図る参考事例とします。



唐津市視察での活発な質疑